

社会

「社会的な見方・考え方」が働く学習



POINT | 知・技

「問い」の分類表を共有し、獲得できる知識を見通すための工夫

社会科らしい学びにするためには、「社会的な見方・考え方」を働かせることが重要であろう。社会的な見方・考え方を働かせるとは、「位置や空間的な広がり」「時期や時間の経過」「事象や人々の相互関係」といった見方（視点）から「問い」を設け、比較や分類、関連付けなどの思考（方法）を経て、社会的な事象の様子や仕組みを捉えることだと考えられる。そのため、子どもたちが何に着目してどのような「問い」を設け、どのように考えるのかを推測し、見通した上で学習に取り組むことが重要であろう。

そこで、学習展開の中に「問いを生む場」「協働で解決する場」「知識を活用する場」といった3つの場を取り入れた実践例を紹介する。

1 「問い」を子どもたちのものにする

はじめに、発問の内容と獲得できる知識の関係性を把握し、「問い」をその性質の違いから3つに分類して明示した。授業者と子どもたちが分類表を共有することで、問題解決的な学習過程の中で表を参照しながら学習を進めたり、自身の学びを振り返ったりすることを目指した。

分類	見方（視点）			獲得できるもの
	位置や空間的な広がり	時期や時間の経過	事象や人々の相互関係	
知るための問い いつ？どこで？ だれが？何を？ どのように？	どこで広がったのか	何が変わったのか	だれが生産しているのか	目に 見えるもの 事実
分けるための問い なぜ？ そもそも何？	なぜこの場所に広がっているのか	なぜ変わっているのか	なぜ協力することが必要なのか	目に 見えないもの 意味 特色 願い
判断するための問い どちらが～？ ～するべき？	更にこの場所に広げるべきだろうか	どのように変わっていくべきなのだろうか	共に協力する上でAとBとどちらが必要だろうか	

【子どもたちと共有した「問い」の分類表】

計画 時間	問いの分類 私が「入」するための問い	見方（視点）			私の問い / 解決に向けた予想	
		位置や空間的な広がり	時期や時間の経過	事象や人々の相互関係	私の問い	私の予想
2	知る	どこで？	どのように？		南部鉄器の原材料は岩手県のどこで集められているのだろうか？	近くに南部鉄器の材料となる砂鉄がとれる場所があるはずだろうか？
3	分ける		なぜ？	だれが？	なぜ南部鉄器の製法は人々によって昔から受け継がれてきたのだろうか？	鉄器を作り続けている理由には歴史的な背景や人々の工夫があるだろうか？

【子どもの学習計画の入力例】

例えば、上の図のように「問い」の分類表を活用しながら単元の学習計画を立てていくと、前時までの学習内容を振り返ったり、その後の学習を見通しながら、本時の「問い」や予想を練り上げようと意識付けたりすることができる。学習計画に基づいて単元全体を通して学ぶべき学習内容を把握するとともに、個別の知識を概念的・構造的な知識として関連付けながら習得することで、知識の理解の質が高まるだろう。



【東北地方の学習単元での社会的な見方・考え方の役割の図】

展開の工夫 ～3つの場の設定～

音更町立共栄中学校 教諭 千葉 直哉



小学校4学年

小学校6学年

中学校2学年

POINT 2
思・判・表

子ども主体の学習で「学び方」を確立させるための工夫

また、社会科の単元では「問題把握→問題追究→問題解決」の問題解決的な学習過程が重視されており、社会的な見方・考え方は全ての段階で活用されるであろう。例えば、地理的分野「C(3)日本の諸地域」における東北地方の学習単元では、「問題把握」段階の学習計画を立てる活動で、子どもに左下の図を提示した。学習課題を解決するための視点と方法を把握し、問題解決に向けた見通しをもつことで、子どもの学習意欲が高まり、今この時間に自分が学んでいることにはこういう意味があると常に意識しながら取り組むことができるだろう。

を参照したり、考え方の共通点や相違点を話し合ったりする中で、「なぜか」「それはどのような意味があるか」「そこから見いだせる特色は何か」といった、理解の質の高まりを意識した問いを設定した。



【子どものホワイトボードの入力例】

2 自分の学びを創るための協働的な学び

問題解決的な学習過程の中で、協働的な学びを効果的に行おうと思えば、個別最適な学びの時間が必要になるだろう。充実した質の高い協働的な学びを創ることが、深い個別最適な学びを更に創り出すという「個別→協働→個別→…」の循環が大切だと考えられる。どれくらいの時間を使って自分で調べるのか、他者とのように協働するのか、子どもたちが自分に適した学び方を考え、見付けられるように促すことが重要であろう。例えば、歴史的分野「(3)ア(イ)江戸幕府の成立と対外関係」における江戸幕府の成立と大名統制の学習単元では、ホワイトボードツールを活用して、幕府と藩による支配が確立したことを視覚的に理解する学習活動を取り入れた。その過程で、一人一人がホワイトボードを作成することを通して、他者の考え方

3 学びを振り返りながら知識を活用する

毎時の終末に「どのように学んだか」を記入し蓄積することで、単元の学習活動における思考・判断・表現の過程を経て、知識・技能が生きて働くものとして習得されていくだろう。

【学習のまとめ】	【学びの振り返り】
その日一日の学習のなかで新たに気付いたことや感じたこと、考えたことを自分の言葉で記入します	考えを深める上で参考にしたことや仲間のような発言に共感したのを自分の言葉で記入します

学習のまとめ	文字数	学びの振り返り	文字数
今日の授業で地図に国を正しく表すには正確な場所を調べて、首都を的確に表すことが大事だと思いました。また赤線や本初子午線など書くことによって要点をきちんと地図に取込めることができると思いました。色々な工夫をすることによってわかりやすい地図を作ることができました。他の学習では地球の姿を正しく読み取るためのたくさんの地図や地球儀があることを学びました。なにが正しく表されていて何が正確じゃないのか、使うときによって使う地図などが違うのを知りました。	225	今日の学習で国の場所や首都、場所なども再確認出来ました。また知らない国の場所だったり首都などがあると思うのでこれからもっと調べていけたらいいなと思いました。友達と協力したことによって効率よく作業することができたし、作業スピードが上がりました。また意見なども交換することができて良かったです。	145
今日の授業は略地図を書きその上にアジア州の国、ヨーロッパ州の国、などなどの国名と首都を地図上で表すのが難しかった。もっとわかりやすくするには色分けしたり赤線を引いたり大陸など州に分けたりすることでわかりやすくなるなと思いました。国の場所を地図上に書き込むときはGoogle mapを使うと、大まかな位置がわかりやすかった	160	今日の授業では、いろいろな国の名前、場所などを知ることが大切だなと思いました。友達と協力して、国の場所、首都の場所、を調べることで効率よく国の場所などがわかった。地図図を書くときも難しくなかったのでこれまで線を引くかなどを正確にはけなかったのわかりやすかった。そして今回調べた国の場所などを再確認できたことも良かったなと思った。	165

【子どもの振り返りシートの入力例】